

第55回

よこて

菊まつり

横手の秋の風物詩「よこて菊まつり」は今年で55回目の開催を迎えることができました。

今年は夏の酷暑が菊の生育に大きな影響を及ぼし大変心配されましたが、無事開催することができましたこと皆様に感謝申し上げます。丹精込めて育てた菊をお楽しみいただければ幸いです。

(一社)横手市観光協会
菊まつり委員会

委員長 遠山 勝義

イベント情報

◆特別展 奇想天外×大胆不敵 浮世絵師 歌川国芳展

期間：9月9日(土)～11月5日(日)
場所：秋田県立近代美術館5階展示室
観覧料：一般1,200円 高・大学生1,000円 中学生以下無料

歌川国芳は、北斎や広重と同じ江戸時代後期に活躍した浮世絵師です。水滸伝に登場する豪傑たちを描いた武者絵で一躍脚光を浴び、風景画や戯画など様々なジャンルで活躍しました。人々を「アッ」と驚かせるような奇想天外にして大胆不敵な国芳の作品は、当時の江戸っ子たちばかりでなく、現代の若い世代にも人気を博しています。

本展では、国芳が最も得意とした勇ましい武者絵と楽しい戯画を中心に、西洋画の影響を受け独特な雰囲気を持つ風景画を加えてご紹介します。国芳らしさを凝縮した約170点の優品で構成する、全国で秋田県立近代美術館のみを会場とした展覧会です。格好良くて面白い、そしてどこか不思議な国芳ワールドをこの機会にぜひお楽しみください。

◆2023コレクション展第3期 「遊び戯る美」

期間：10月12日(木)～令和6年1月9日(火)
場所：秋田県立近代美術館6階展示室 観覧料：無料

「遊」と「戯」をテーマに収蔵品をご紹介します。

◆バルーンアートパフォーマンス

日時：10月29日(日) 10:00～12:00
場所：菊まつり会場

何が出来るか、最後まで目が離せません!

◆横手市民謡連合会による民謡披露

日時：11月3日(金・祝)
場所：菊まつり会場 場面展示前

豪華な菊をバックに民謡を披露いたします

令和5年
10月28日(土)～11月6日(月)

9:30～17:00 10日間

会場 秋田ふるさと村

秋田まるごと 食の祭典 2023

見て食べて、満足!
ステージイベント盛り沢山!

開催日時 2023.11/3(金)～5(日)

開催場所 ふるさと広場・お祭り広場

あきた発酵の郷マルシェ
発酵食品を中心に「秋田の旨いもの」を販売!

美酒王国あきた 醸しフェア
県産の日本酒の展示、試飲、大販売会開催。
地ビールやワイン、ハードサイダーも登場!

◆VRアトラクション

開催時間：
平日 9:30～12:00/13:00～17:00 (最終受付/16:30)
土・日・祝 9:30～17:00 (最終受付/16:30)
料金：7歳以上600円(7歳未満の方はご体験できません)
場所：正面入口

大迫力のVRアトラクション「恐竜戯画」「ウルトラ逆バンジー」
「恐怖ひきずりの刑」を正面入口ふるさと広場に開催中。
非日常体験の世界へLet's Go!

◆ウォークラリーin秋田ふるさと村 ～鳥海山2,236mチャレンジ～

期間：11月1日(水)～令和6年3月31日(日)
時間：9:30～16:00 (最終受付15:30)
受付：正面入口 ふるさと広場内

村内のウォーキングコースのチェックポイントを巡ってスタンプをGet!!コースを10回歩くごとに200円分のお買物券進呈!
※1日1スタンプとさせていただきます。

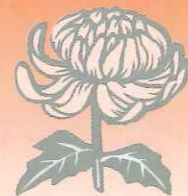


第5回 武将隊フェスティバルよこて

～ 菊花の陣～

11月5日(日) 10:30～16:00

場所：菊まつり会場



菊の仕立てを知ると、菊の魅力が見えてきます。

仕立て方いろいろ 菊の魅力

だるま作り

矮化(わいか)割を使って草丈を60センチ以下にする3本仕立てのことです。全体がまるくだるまのように見えることからこう呼ばれています。

千輪咲(せんりんざき)

一つの苗から、大きい物は文字どおり千以上の花を咲かせる作りです。直径3メートル、高さ2メートル以上にもなります。今年の花は何個でしょう。数えてみては?

大菊の三本仕立て

大菊の最も代表的な仕立て方で菊の正装といった感じです。1本の苗から3本の枝を出し、巨大輪の花が三本揃って咲く様は豪華そのものです。

盆栽作り 文人(ぶんじん)

こちら小菊の山菊を使い、盆栽のように仕立てます。木に付けるものを木付文人(きつけぶんじん)、石につけるものを石付文人(いしつけぶんじん)と言います。

福助(ふくすけ)作り

草丈40センチ以下に仕立てる1本仕立てのことです。頭でっちなためこの名が付けました。短期間で開花し、枝作りもないので比較的簡単に栽培できます。

懸崖(けんがい)作り

小輪の山菊を文字通り崖のように垂らして作り込む形です。大きなものは全長2メートル以上にもなり、全ての花が咲きそろう様は見事です。

大菊の種類

大菊とは、花の直径が18cm以上の菊をいいます。大別すると、厚物、管物、一文字などに分けられます。

厚物(あつもの)



一般的に大菊といえばこの花を指す代表的な花です。多数の花弁が中心に向かってこんもりと盛り上がった花をいいます。

管物(くだもの)



細長い管弁が放射状にまっすぐ伸び、傘を上げたように咲くのが特徴で、その花弁の太さによって、太管・間管・細管・針管の4つに区分されます。

一文字(いちもんじ)



明治元年(1868)から皇室の紋章になったので、御紋章菊とも呼ばれます。その名のとおりに、平たい花弁が一重に並びます。花弁は16枚前後が理想とされます。

会場レイアウト

1	市展大菊厚物
2	市展大菊管物
3	市展大菊一組
4	市展五鉢一組
5	市展競技花厚物
6	市展競技花管物
7~9	市展その他
10~18	県展
19~20	市展懸崖・スプレー菊

＜県展出展団体＞
秋田西部菊花同好会
由利本荘菊の会
大仙菊花同好会
大曲菊の会
千畑観賞菊の会
横手菊の会
雄物川鑑賞菊を創る会

